

ベラルーシ公開情報とりまとめ

(5月27日～6月2日)

2024年6月5日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- コチャノヴァ国民議会共和国院(上院)議長一行の中国訪問(5月27日～30日)
- シーヤールトー・ハンガリー外務貿易大臣のベラルーシ実務訪問(5月29日)
- ベラルーシ・ロシア電話首脳会談(5月31日)

【ルカシェンコ大統領動静】

●ベラルーシ・ロシア電話首脳会談

・安全保障及びウクライナにおける紛争のエスカレーションを許さないという話題を中心に協議。

・アスタナにて開催予定の上海協力機構(SCO)加盟国首脳会合のフリンジにおける二国間会談の実施で合意。

(5月31日 大統領府)

【外交】

●コチャノヴァ国民議会共和国院(上院)議長一行の中国訪問(5月27日～30日)

・趙楽際・全国人民代表大会常務委員会委員長、韓正副主席、謚貽琴・中華全国婦女連合会主席と会談。
・中国共産党歴史展覧会の他、天津市の医療機関・教育機関等を訪問。

・コチャノヴァ共和国院議長は、韓正副主席との会談において、中国がベラルーシにとって、以前も今もこれからも信頼できるパートナーであるとした上で、「ベラルーシは一つの中国という原則を堅持する」と述べた。

・また同議長は、「我々は、新疆・香港・チベット・台湾を含むあらゆる機微な問題に関し、また南シナ海の問題に関して非同盟運動の枠組みにおいて、貴国を支持してきたし、(これから)支持を継続する」と述べた。

(5月27日～30日 国営ベルタ通信)

●シーヤールトー・ハンガリー外務貿易大臣のベラルーシ実務訪問

(1)シーヤールトー・ハンガリー外務貿易大臣の訪問時の行事と成果文書

・両国外務大臣会談、ベラルーシ・ハンガリー両国政府経済協力合同委員会第12回会合、原子力分野での協力に関する協議、ベラルーシ・ハンガリー・ビジネスフォーラムを実施。

・両国政府経済協力合同委員会第12回会合では、エネルギー・農業・産業協力・保健・製薬・建設・スポーツ・観光・学術教育等の分野における連携を中心に、貿易・経済関連の事項を協議。

・成果文書は、①合同委員会第12回会合の議事録、②2024年から2025年にかけてのベラルーシ外務省とハンガリー外務貿易省の間の協力プログラム、③原子力分野における協力の深化にかかる相互理解に関するベラルーシ・エネルギー省とハンガリー外務貿易省の間の覚書、④ベラルーシとハンガリーの原子力発電所の協力ロードマップ

(2)アレイニク外務大臣の主な発言

・ベラルーシは、対等かつ互いを尊重する対話という原則を堅持。

・ハンガリーが欧州連合(EU)議長国を務めることにより、欧州各国政府における健全な傾向がますます強化されることを期待。人々是对立・圧力・エスカレーションに疲れており、そのようなことは何も良いことをもたらさない。

・ブダペストもミンスクも自国の政策を決定するにあたっては、自国民の大多数の願いと関心に基づいており、外部からの指示や何者かの期待にそって決定したりなどしていない。

(3)シーヤールトー・ハンガリー外務貿易大臣の主な発言

・相互に対する信頼と敬意に基づく協力に賛成。EUとベラルーシの間のコミュニケーションの経路を断ってし

まうなら、平和を達成するために活用できるであろう重要な手立ても失ってしまう。ベラルーシと EU の協力強化に対する取組を継続。

- ・平和をもたらす道が、即時の停戦と結びついていることは明白。ウクライナにおける戦争を一刻も早く終わらせるため、ベラルーシも可能な限り全てのことを行うよう、アレニク外務大臣に申し入れた。

- ・制裁に抵触しないあらゆる分野において、ハンガリーはベラルーシとの協力進展に関心あり。ハンガリーは自国の国益や経済、ベラルーシとの交流拡大に影響する EU の決定を支持することはない。

- ・現在の国際社会は様々なブロックに分断されており、制裁によって国家間の対立が強まるばかり。そのようなことは我々の利益にはならない。我々は、制裁をより少なくし、協力は可能な限り多くする必要があると考えている。制裁という政策は破綻している。EU は制裁という政策により、多くのものを失った。

- ・スポーツ選手が自国を代表して出場する権利を持っていないなどということに反対。スポーツ選手の五輪出場許可を左右するのは、その実績や成績だけではない。

- ・ハンガリーも宇宙飛行士をもう一人訓練する計画があり、宇宙分野での協力の新たな段階を期待。

- ・ベラルーシがハンガリーへの石油供給を継続することを期待。また、ベラルーシの原子力の専門家が、ハンガリー国内における原発建設に参加できることも期待。

(5 月 29 日 国営ベルタ通信)

●リトアニアは、ベラルーシ及びロシア製の商品計 2,800 品目の輸入を禁止

- ・6 月 3 日以降、生きた動物、肉及び内臓、魚、乳製品、卵、天然蜂蜜、非動物由来製品、植物、野菜、果物、コーヒー、スパイス、穀物、油、飲料、タバコ等 24 品群の計 2,800 品目の輸入を禁止。

- ・ただし、一部のキノコ、ベリー類等、他の輸入相手国がない商品は輸入禁止の対象外。

(5 月 29 日 LRT.lt、ポジルク)

●欧州連合(EU)は、特定のベラルーシ製商品の輸入関税を引上げ

- ・EU は、7 月 1 日以降、ベラルーシ及びロシアからの特定の商品の EU への輸入関税を大幅に引上げ。

- ・同措置は、穀物、油用種子および関連製品、ビートパルプペレット、乾燥エンドウ豆の EU 域内への輸入を抑制する一方で、第三国への輸出に影響を与えず、世界の食料安全保障を維持することを目的としている。また、ロシア産と偽装されたウクライナ産穀物の違法輸出に対処し、現在進行中のロシアのウクライナ侵略戦争の資金源となりうる収入源を断つことを目的としている。

(5 月 30 日 欧州委員会)

●欧州司法裁判所は、ベラヴィア航空による制裁解除を求める訴訟を棄却

- ・欧州司法裁判所は、ベラヴィア航空が国営企業であり、従業員に抗議活動に参加しないよう呼びかけたことや、移民の不法越境に関与していること等を理由に、ベラヴィア航空の訴えを退けた。

(5 月 29 日 欧州司法裁判所)

【内政】

●2020 年以降、政治的理由により有罪判決を受けた人は少なくとも 5,133 人

- ・人権団体「ヴァスナ(春)」の報告によるもの。

- ・2020 年以降、政治的迫害を受けた女性は 8,000 人以上で、刑事裁判で有罪判決を受けたのは 1,154 人。

- ・政治犯のうち、少なくとも 254 人が障害や、重篤な症状を抱えている状態で服役中。

- ・2020 年の大統領選挙後の抗議活動に参加したとして有罪判決を受けた人は少なくとも 2,466 人、非抑圧者を支援する基金やイニシアチブ等への寄付を理由に有罪判決を受けた人は 90 人。

- ・2020 年以降、「過激主義者」のリストには 4,100 人が登録されている。

- ・刑期を全うして釈放された政治犯は、少なくとも 1,012 人。

(5 月 29 日 人権団体「ヴァスナ(春)」)

●5月31日現在の政治犯の数は1,402人

(5月31日 人権団体「ヴァスナ(春)」)

【軍事・安全保障】

●ロシア航空宇宙軍は、バラノヴィチ近郊に軍用ヘリ8機を移動

・反体制組織「ベラルスキ・ハユン」によれば、5月25日朝、ロシアのブリヤンスク州セシャより、ベラルーシのモギリョフ州バラノヴィチ飛行場に、ロシア航空宇宙軍のMi-24及びMi-8ヘリコプター計8機が移動。

(5月25日「ベラルスキ・ハユン」、27日「ゼルカロ(鏡)」)

●ベラルーシからの不法移民の集団の襲撃によるポーランド側警備兵の負傷

・5月28日早朝、ベラルーシからポーランドに違法に越境しようとした不法移民の集団がポーランド側警備兵を襲撃。ナイフを持った不法移民により、警備兵が負傷。

・また、ポーランド国境警備隊は、同日未明にも警備兵2名が負傷する事案があった旨発表。1名は不法移民が瓶で攻撃してきたため顔を負傷し、入院。もう1名は、不法移民から棒の先にナイフを取り付けたもので襲撃を受け、危険な部分を除去することはできたものの、負傷。

(5月28日 ポジルク)

●フレニン国防大臣のカザフスタン実務訪問(5月28日～31日)

・ジャクスルコフ・カザフスタン国防大臣と会談。ベラルーシ軍とカザフスタン軍間の軍用飛行場における軍用機の受け入れ、飛行場整備、警備の組織化に関する協定に署名。

・集団安全保障条約機構(CSTO)国防大臣理事会に出席。フレニン国防大臣は、西側諸国が大規模な情報戦を仕掛けており、軍事化を進め、欧州における戦闘訓練を増やし、規模を拡大していることに懸念を表明。

(5月28日～31日 国防省)

●ベラルーシ・ロシア合同軍事演習

・5月27日から31日にかけて、ベラルーシ空軍とロシア航空宇宙軍の合同軍事演習を実施。

・合同軍事演習の目的は、空爆からの国家の施設や軍事施設の保護。

(5月27日 国防省)

●5月全体のベラルーシから欧州への不法越境の試み

(5月1日～5月31日)

・リトアニア国境警備局は少なくとも34人を阻止。

・ラトビア国境警備隊は少なくとも543人を阻止。

・ポーランド国境警備隊は少なくとも7,117人を阻止。

(6月2日 ポジルク)

【治安・犯罪】

●ポーランドで、ロシアの諜報機関のため諜報活動を行ったとして、ベラルーシ人2人を逮捕

・逮捕されたのは、ベラルーシ人2人とポーランド人1人で、ポーランドで建物に放火する準備を行っていたと見られる。

(5月29日「ゼルカロ(鏡)」)

【経済】

●ベラルーシはジンバブエに39万400米ドル相当規模の人道支援を実施予定

・5月28日付閣僚会議決定第382号によるもの。

・人道支援には、食糧、医薬品、ビタミン剤、子供服及び靴、石けん、毛布・布団類等が含まれる。

(5月28日 法律ポータル)

●閣僚会議(政府)による原子力安全分野における国際技術支援プロジェクト2件の承認

・5月29日付閣僚会議決定第392号により、①「放射線モニタリングと緊急時対応システムの国家基盤の改善」、②「原子力発電所の運転初期段階における原子力・放射線安全分野の規制基盤の強化」の2件の国際技術支援プロジェクトを承認。

・「ポジルク」は、本決定には国際技術支援の支援元が明記されていないが、過去の類似した内容の文書

から考慮すると、国際原子力機関(IAEA)からの支援に関するものであると推測。

(5月29日 法律ポータル、31日 ポジルク)

【抗議勢力の動き】

●チハノフスカヤ民主勢力代表の動向

・5月27日、ポルトガルを訪問。モンテネグロ・ポルトガル首相、ランジェル外務大臣とそれぞれ会談。ルカシェンコ政権に対する制裁を効果的なものにする、ベラルーシ人を孤立させずに支援することを求めた。

・31日、「調整評議会」選挙の投票結果を公表。「調整評議会」議員として、80人を選出。

・31日、ルカシェンコ大統領のモンゴル訪問を控え、エルベグドルジ元モンゴル大統領が、ルカシェンコ大統領はベラルーシにおける人道に対する罪の責任があり、ウランバートルで逮捕されることになると「X」に投稿。これを受け、チハノフスカヤ氏は、「X」にて、「エルベグドルジ元大統領がベラルーシの独裁者に対する正義の執行を強く呼びかけたことに感謝する。ルカシェンコは国際法廷において責任を問われなければならない」とコメント。

(5月27日、31日 チハノフスカヤ氏公式サイト、「X」)

(了)